

## 野菜の需給・価格動向レポート(平成27年12月21日版)

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	11月の価格情報				12月の価格情報		入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月の見通し	「図の見方」				
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				現時点の価格水準				
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬			平均価格	今後の価格水準			
葉茎菜類	キャベツ	72.93	76 (104%)	54 (74%)	72.93	57 (78%)	・入荷量：12,961t ・主産地：愛知（42）、千葉（36）	平均価格	愛知産は、これまで適度な降雨と気温高により、前進出荷で平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は落ち着いた出荷となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、これまで前進傾向での出荷となっているが、前進出荷の影響に加え、降雨と気温高による品質の低下が懸念されるため、今後は平年並みの出荷の見込み。				
		76.91	72 (94%)	53 (69%)	76.91	59 (77%)	・入荷量：3,840t ・主産地：愛知（47）、兵庫（10）、茨城（7）、大阪（7）	平均価格	愛知産及び千葉産の出荷がやや多めから平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。				
	たまねぎ	76.15	65 (85%)	63 (83%)	76.15	59 (77%)	・入荷量：10,254t ・主産地：北海道（94）	平均価格	北海道産は、生育期の天候に恵まれ作柄も良好で、平年よりやや多めの出荷と見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。				
		76.15	67 (88%)	65 (85%)	76.15	65 (85%)	・入荷量：3,672t ・主産地：北海道（74）、兵庫（25）	平均価格	千葉産は、10月～11月にかけての適度な降雨と気温高により細物傾向から回復し、生育は順調であるため、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、最近の気温高により、生育の遅れは回復傾向であるものの、他作物の収穫作業を優先していることもあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。埼玉産は、天候不順の影響で細物傾向に加え、他作物の収穫作業を優先していることもあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。				
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	240.04	227 (95%)	230 (96%)	240.04	255 (106%)	・入荷量：6,760t ・主産地：千葉（25）、茨城（20）、埼玉（18）、群馬（13）、栃木（8）、秋田（2）	平均価格	千葉産は、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、最近の気温高により、生育の遅れは回復傾向であるものの、他作物の収穫作業を優先していることから、価格は平年に近づくもの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。				
		467.01	400 (86%)	349 (75%)	467.01	418 (90%)	・入荷量：1,320t ・主産地：徳島（23）、三重（16）、奈良（16）、高知（13）、香川（11）、大阪（7）	平均価格	千葉産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少ないと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。				
	はくさい	40.32	44 (109%)	34 (84%)	40.32	31 (77%)	・入荷量：14,553t ・主産地：茨城（93）	平均価格	茨城産は、気温高の影響で、12月中旬出荷予定のものが、11月末前後に出荷されていたが、今後はこの前進出荷の影響に加え、年明けの霜対策の作業が重なることから、出荷の谷間となり、平年よりやや少なめの出荷の見込み。				
		55.95	51 (91%)	48 (86%)	55.95	48 (86%)	・入荷量：5,374t ・主産地：茨城（29）、和歌山（15）、愛知（10）、岡山（10）、熊本（9）、大分（8）、兵庫（7）	平均価格	茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。				
	ほうれんそう	385.11	279 (72%)	276 (72%)	385.11	429 (111%)	・入荷量：1,629t ・主産地：群馬（36）、茨城（18）、千葉（17）、埼玉（17）	平均価格	群馬産は、これまでの前進出荷の影響で、今後も平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、最近の適度な降雨と気温高により、生育は順調で引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、適度な降雨と気温高により生育は順調で前進出荷傾向となっており、現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は落ち着いた出荷となり、平年並みの見込み。				
		461.74	301 (65%)	321 (70%)	461.74	508 (110%)	・入荷量：587t ・主産地：徳島（39）、福岡（30）、岐阜（12）、群馬（11）	平均価格	茨城産及び千葉産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれるもの、群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。				
	レタス (結球)	143.63	79 (55%)	106 (74%)	233.85	158 (68%)	・入荷量：7,396t ・主産地：静岡（26）、兵庫（15）、長崎（13）、茨城（12）、香川（9）、熊本（4）	平均価格	静岡産は、最近の降雨と気温高により大玉傾向となっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。兵庫産は、降雨後の気温高によりイタミが発生し、下位等級の発生が多いものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。長崎産は、最近の気温高により前進出荷となっていたが、今後は気温高の影響で下位等級品など出荷できないものもあることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。				
		154.61	91 (59%)	120 (78%)	226.75	161 (71%)	・入荷量：1,479t ・主産地：兵庫（45）、徳島（21）、長崎（13）、香川（6）	平均価格	静岡産の出荷はやや多めと見込まれるもの、兵庫産及び長崎産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。				
果菜類	きゅうり	262.75 370.98	249 (95%)	375 (101%)	370.98	510 (137%)	・入荷量：4,491t ・主産地：宮崎（37）、千葉（20）、高知（19）、埼玉（11）	平均価格	宮崎産及び高知産は、最近の天候に恵まれ、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、11月の天候不順の影響で生育はやや不良で、現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、生育が回復基調となっていることもあり、今後は平年並みの出荷の見込み。				
		284.72 350.33	226 (79%)	355 (101%)	350.33	492 (140%)	・入荷量：963t ・主産地：宮崎（48）、高知（26）、徳島（13）	平均価格	宮崎産、高知産及び千葉産の出荷が平年並みに回復すると見込まれることから、平年を上回っていた価格は、12月上旬半ばから値を下げており、平年並みに推移する見込み。				
	トマト (大玉)	315.83 349.23	246 (78%)	223 (64%)	349.23	254 (73%)	・入荷量：4,745t ・主産地：熊本（45）、愛知（18）、栃木（11）、千葉（10）	平均価格	熊本産及び愛知産は、天候に恵まれ着果状態が良く、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、生育期に好天に恵まれたことから、大玉傾向となっており現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、11月の曇天の影響で花落ちが散見され、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。				
		337.88 326.61	246 (73%)	228 (70%)	326.61	249 (76%)	・入荷量：963t ・主産地：熊本（70）、愛知（9）	平均価格	熊本産、愛知産及び栃木産の出荷が平年並み、千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。				
	なす	301.00 389.03	313 (104%)	330 (85%)	389.03	421 (108%)	・入荷量：1,672t ・主産地：高知（62）、福岡（17）	平均価格	高知産及び福岡産は、11月の曇天による日照不足や夜温が高い影響で花落ちが見られたことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。				
		263.21 397.74	308 (117%)	344 (86%)	397.74	428 (108%)	・入荷量：321t ・主産地：高知（43）、熊本（28）、福岡（17）、岡山（9）	平均価格	高知産及び福岡産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。				
	ピーマン	378.83	252 (67%)	252 (67%)	378.83	372 (98%)	・入荷量：1,844t ・主産地：宮崎（37）、茨城（27）、高知（19）、鹿児島（16）	平均価格	宮崎産は、11月の曇天による日照不足の影響から花落ちが見られたことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、成り疲れによる着果不良など、生育はやや不良の状況で、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は着果が順調であることから、出荷は回復し、平年並みの出荷の見込み。				
		371.29	214 (58%)	239 (64%)	371.29	371 (100%)	・入荷量：395t ・主産地：宮崎（52）、高知（22）、鹿児島（10）	平均価格	茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、宮崎産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、12月上旬から日を追うごとに値を上げ、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。				
根菜類	だいこん	67.55	49 (73%)	45 (67%)	67.55	44 (65%)	・入荷量：13,554t ・主産地：千葉（49）、神奈川（41）	平均価格	千葉産は、適度な降雨と気温高により肥大化が進み過ぎたため、現在、下等級品の出荷調整により、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は出荷調整が解除されることが見込まれ、平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、最近の天候に恵まれ、特段の病害の発生もなく、生育は順調で、安定した出荷となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。				
		76.48	55 (72%)	44 (58%)	76.48	50 (65%)	・入荷量：3,845t ・主産地：和歌山（27）、長崎（25）、鹿児島（19）、徳島（16）	平均価格	千葉産及び神奈川産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。				
	にんじん	105.86	124 (117%)	109 (103%)	105.86	87 (82%)	・入荷量：8,840t ・主産地：千葉（84）	平均価格	千葉産は、最近の適度な降雨と気温高により生育は順調で肥大が進み、太物傾向となっていることから、現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は他作物の出荷と重なるため、現状より減少することが見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。				
		104.49	126 (121%)	110 (105%)	104.49	98 (94%)	・入荷量：2,626t ・主産地：長崎（66）、鳥取（12）、鹿児島（11）、宮崎（6）	平均価格	千葉産の出荷が平年よりやや多めから平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。				

